

しゃっちょうは行く!

Broaden your horizons ⑥1 ~さあ、視野を広げて!~

こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

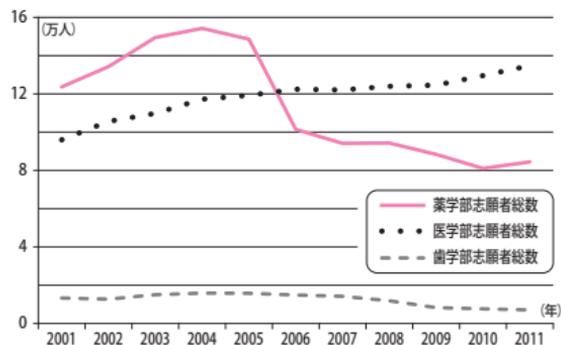
以前のコラムで、35~65と大きく幅が開いた大学別薬学部への偏差値について、ご報告をさせていただきました。今回は、薬学部を取り巻く環境第2弾として、「薬学部志望者数」を取り上げてみます。医学部と歯学部でも比較を試みました。

2012年の18歳人口は120万人、進学者数が61万人ですから、進学率50%です。

このうち、薬学部志望者数：91,286人(募集人数12,856人)、医学部志望者数：94,252人(募集人数8,846人)、歯学部志望者数：8,180人(募集人数2,482人)、看護系学部志望者数61,548人(募集人数7,767人)となっています。

薬学部は、6年制になったときにガクンと希望者数が減っています。昨年度が底で、今年度は志願者数が少し回復しました。しかし、私立薬学部57大学中19大学が定員割れですから、薬学部を希望すればどこかの大学に入れます。一方、医学部は志願者数が常に増加傾向ですね。また、歯学部の不人気は耳にしていますが、数字で見ると、よりリアルです。

<薬・医・歯学部の志願者数の推移>



今一度、4年制時代の志願者数に戻したいと強く思いました。そのためにはどうすればよいのか? やはり、私たち薬剤師がしっかりと存在感をアピールしていくしかありません。先日開かれた次世代薬剤師フォーラムで、特別講演させていただき、とても熱心な参加者の皆さんと、薬剤師の未来について考えました。こんなことの積み重ねが必要なのではないでしょうか。子供たちが憧れる職業に薬剤師がなれば、自然と志願者は増えていきます。そのために私たちが笑顔振りまいて、「憧れの存在」になりましょう! 笑顔は伝染します。薬の知識と薬剤師の笑顔で社会を元気にしていきましょう!

お知らせ 9月22日(土・祝)にメディセレ東京校(高田馬場)で、「次世代の薬剤師を創る会」を開催いたします。簡易懸濁法を確立した昭和大学准教授の倉田なおみ先生と、吸入器指導のエキスパート東濃中央クリニック院長の大林浩幸先生にご講演いただきますので、お時間のある方はぜひお越しください。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子